県教委と県P理事との合同研修会

平成二十六年八月十九日（火）グランデはがくれにおいて、県教育委員会と県PTA連合会との合同研修会が開催されました。

はじめに、倉光会長、中島副教育長のあいさつに続き出席者の自己紹介及び各課より今年度の主要施策について詳しい行政の説明がありました。

事前に県P理事からの質問・要望事項もありましたので、それらも含めて説明していただきました。

その後、意見交換会が行われました。

〈出　席　者〉

佐賀県教育委員会	中島　秀明	副教育長
教育情報課長	福田　孝義	副教育長
教育情報課	山中　昭彦	副課長
教育政策課	八谷　幸浩	課長
教育支援課	源五郎丸　靖	課長
文化財課	松本　啓嗣	課長
	徳富　則久	副課長
学校教育課保健体育室	三上　智一	室長
学校教育課保健体育室	牛島　徹	指導主幹
学校教育課	槇原　靖宏	参事
	池田　典穂	主幹
佐賀県PTA連合会	倉光　健二	会長
県PTA理事等		

平成二十六年度佐賀県教育基本方針（施策体系）

一、確かな学力を育む教育の推進
①学力の現状把握と分析
②教育内容の工夫や指導法の改善
③学習環境の整備・充実

二、豊かな心を育む教育の推進
①発達段階に応じた心の教育や体験活動の推進
②不登校や問題行動、いじめの問題への対応

三、健やかな体を育む教育の推進
①学校体育や運動部活動の振興
②食育の充実
③健康教育・性に関する指導の充実

四、時代のニーズに対応した教育の推進
①ICT利活用教育の推進
②グローバル化に対応した教育の推進
③県立高校再編整備の推進
④特別支援教育の充実

五、教育活動を支える環境の整備
①優秀な教職員の養成・確保
②安全・安心・快適で、質の高い教育環境の整備
③信頼される学校づくりの推進
④厳しい雇用・経済情勢への対応

六、文化財の保護
①文化財の調査・保存
②文化財の整備・継承

意見交換会

県P理事からのたくさんの質問の中から、佐賀県教育委員会からの回答をご紹介します。

Q　ICT機器活用と学力向上に果たす役割を教えてください。

A　教育情報化

教育の情報化推進において志向する「学力の向上」とは、二十一世紀を生き抜く力であり、狭義の教化学力にとどまらず、情報活用能力（情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に三参画する態度）や二十一世紀型スキルの習得等を包括的意味として捉えている。

なお、ICT機器を利活用した教育を推進することで

①学びの質の向上
②教師の指導の質の向上
③学校運営の改善、事務負担の軽減
④いつでもどこでも良質な学習機会の提供

など、教育の質の向上等の効果が期待され、高度情報化・グローバル社会に対応した教育の実現等、社会変化に対応した教育の現実に寄与できるものと考える。

info

優秀広報紙集の紹介

全国小・中学校PTA新聞コンクールの入賞作品を紹介している「2014優秀広報紙集」（日本PTA全国協議会編）が発行されました。

広報委員の方々にも参考になると思いますので各単Pに1冊いかがですか。

申込／各市郡連PTA事務局

一冊　¥1850

佐賀県PTA新聞

発行所
佐賀市与賀町 1−24
佐賀県PTA連合会
☎0952−㉖2276
印刷　佐賀印刷社

発行責任者
会長　倉光 健二

語り合おう！
「家庭の日」
（毎月第三日曜日）

子どもが輝くPTA活動を目指して
佐賀PTA
http://www.saga-pta.jp/

第六十二回日本PTA全国研究大会
第五十九回 九州ブロックPTA研究大会長崎大会

異国情緒豊かな長崎で集い、語らい、学びあい

～きてみんね　さるいてみんね　よかとこばい～

平成二十六年八月二十二日（金）～二十三日（土）

全国より九千三百名の参加者で、十分科会に分かれて、熱心な研究討議・講演が行われました。

全体会では、「子は育ち、親も育つ。楽しまなくちゃもったいない。」と題して育児漫画家・NHK教育テレビ司会の高野優先生による記念講演が行われました。ご自身の育児体験を元に、地域を含めて子どもたちを見ていくことの大切さやをマンガを描きながら、お話をして下さいました。

そして弓削田健介様のフィナーレと続き、それぞれの会場が映像と音楽でつながる一体感となり盛会となり終了しました。

第3分科会
「学校教育」に参加して

佐世保小中学校のPTA・育友会は、学校と共に全市的に「心の教育の更なる充実を図る」「コミュニケーション能力の向上を図る」「子どもの居場所づくりを図る」という三つの目標を掲げて活動さています。

地域や大人たちの在り方が問われる中で、様々な取組を重ねていくうちに連携の目的は、地域コミュニティやソーシャルキャピタル形成だという事がわかってきたそうです。その中で問題点として、集合住宅等連携の難しさをあげられました。

地域・学校・家庭の三本柱で子どもたちを育てて行けたらと、私は強く感じました。

九州ブロックPTA協議会
表彰おめでとうございます

◆団体表彰
基山町立基山中学校PTA
佐賀市立川上小学校PTA
唐津市立湊小学校育友会
伊万里市立大坪小学校育友会
白石町立白石中学校PTA
鹿島市立鹿島小学校PTA

◆個人表彰
幸松　克也　松永　真治
山田　泰寛　酒井田　淳志
土本　寿枝　松信　真冬

◆感謝状
西岡　豊
松尾　保男
武藤　祐子

ランドセル

我が家族は、祖父祖母、子ども四人、それと夫婦の八人家族です。子ども達は、上は高一、中三、中一、年中でにぎやかな家族です。上三人も、もちろんランドセルで登校していました。今も、朝の登校時に小学生たちを見ていると、我が子たちも大きく成長したんだなあと感じながら見ています。末っ子の幼稚園生もまもなくランドセルの年になります。楽しみです。今の小学生は、私たちの時と比べて忙しそうに感じます。社会体育の競技も色々増え、スポーツをしてない子ども達が珍しいと感じる今日です。ランドセルの子ども達が、素晴らしい挨拶をし、素晴らしいプレーをし、感謝の言葉を述べている場面を見るとビックリです。その子達を見ていると、大人としてうれしく思い、この子達に、今、大人達ができるすべてのものを送りたいと感じます。美しい自然、明るい未来の社会、ランドセルの子達に、背中を押され進んでいる自分がいます。子ども達の環境も、インターネットなどで激変しているのも事実でしょう。中学、高校と、益々たくましくなる子ども達。でも、ランドセルの小学校時代を忘れてほしくない無邪気な子どもの心を持ち続けてほしいものです。ランドセルから、ネクタイまで見守っていきたいものです。

有田中P　辻　安秀

の自慢の献立

「天津飯はパパの味」

多久中央小中Ｐ　糸賀　聖

二十六年過ごした東京を離れ、佐賀に移住して早や十五年。子ども達は成長し食べ盛りになりました。調理師の私が作る一番人気が「天津飯」です。早くてうまくてボリュームたっぷりなんです。

〈カニ玉〉の材料（4人分）

卵　8個　カニ肉　160g
長葱　40g　干椎茸　4枚
ご飯　適量

〈あん〉の調味料

無塩鶏がらスープ　300cc
酒　大2　醤油　大4
味の素　小1　砂糖　大3
オイスターソース　大2
水溶き片栗粉　ゴマ油

〈作り方〉

①あんの調味料を合わせ沸騰させ、とろみをつけてゴマ油を加える。
②材料を細切りし軽く炒める。
③卵2個と②の1人分を混ぜ塩と味の素で味付けする。
④フライパンを熱し多めの油を敷き③を流し入れ、かき混ぜ半熟になったら裏返す。
⑤両面に火が通ったら、器に盛ったご飯の上に乗せる。あんをかけてできあがり。

※片面焼きにするとトロトロに仕上がり、これもおいしいです。代用としてカニかまや玉葱、木耳を使ってもいいですね。

外食も楽しいですが我が家には、お袋の味と親父の味があります。家での味や楽しい時間をいつまでも忘れないでいてね。

たけお！食の日「長なすのラザニア」

武雄小Ｐ　奥川由美子

武雄小は月二回程、地元の農産物を使った給食を頂いています。ラザニアとは、平たい板状のパスタの一種です。給食では、ぎょうざの皮を代わりに使って作っています。このラザニアの中に、七月から八月にかけて武雄市でたくさん作られる、長なすが入っています。

給食を担当している山口先生に、献立について尋ねた所「単に食べるということだけでなく、給食を通して旬の食材を使った料理を家庭に広めること、更に子ども達が大人になった時に、浸透していない佐賀の郷土料理や食文化を伝えていけるよう働きかけたい」という事です。

武雄市では、タブレットによる反転学習や官民一体型学校づくり等で全国的に話題になっておりますが、まずは健全な身体づくりの基礎となる食育を、学校から発信することで、家庭の和につなげられたらと願っています。

★ 長ナスのラザニア ★

◎ 材料　4人分 ◎

豚ひき肉･･･90g　オリーブ油･･･大さじ1　赤ワイン(または酒)･･･小さじ1　玉ねぎ･･･大1/2ケ
ケチャップ･･･大さじ2強　生クリーム･･･大さじ2強　長ナス･･･1/2本　トマトピューレ･･･大さじ1強
ギョーザの皮･･･4枚　にんじん･･･40g　コンソメ･･･1g　とろけるチーズ･･･40g
ゆで大豆･･･20g　塩こしょう･･･0.3g　アルミカップ(大)･･･4枚

◎ 作り方 ◎

①玉ねぎ、人参はみじん切り、長ナスは皮を所々むいて5㎜幅のいちょう切りにする。(ナスは水にさらし、あくをとる)
②オリーブ油でひき肉、玉ねぎ、人参を炒め塩コショウをする。さらに長ナスも炒める。
③野菜に火が通ったら、ゆで大豆を加え、ケチャップ、トマトピューレ、コンソメ、赤ワインを入れ、調味し煮る。
④生クリームを加え、かき混ぜ、火を止める。
⑤アルミカップに④の具を入れ、上からギョーザの皮をのせ、その上にとろけるチーズを振る。
⑥230度のオーブンで6分程焼く。

「みんな大好きキーマカレー」

上峰中Ｐ　鳴山美千代　鶴田　光代

上峰町は、給食センター自校式から、全面民間委託に移行して六年目を迎えました。

ご飯・汁物などは、学校に着くまで70°C～60°Cを保って配送され、子ども達は、温かい状態で食べることが出来ています。

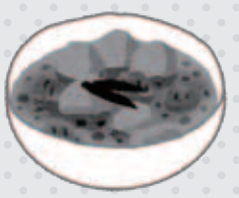
今回のメニューは

○ナン
○牛乳
○キーマカレー
○キャベツのサラダ
○冷凍もも

特にナンは、「もちっとしていておいしい！」と毎回、大好評です。キーマカレーには、子ども達が苦手な枝豆も入っていましたが、ナンと一緒に食べることにより残さず食べていました。

キャベツのサラダには、五種類の野菜が入っており、バランスの取れたサラダで味付けも酢・塩・こしょうでシンプルにまとまっていました。この時期は、新学期が始まり体育祭前で食欲も落ちがちな子ども達の為に、工夫されているなーと思いました。また、日頃のメニューに使用されている食材も、お米は、上峰町産。野菜は、町内産や三養基郡内・佐賀県産と拘っています。

給食センターの皆さんや栄養士さんのお陰で、とても安心して給食を頂いております。



「我が家の餃子」

江北小Ｐ　井上　絵美

仕事がお休みの時、たまに無償に餃子が作りたくなり、我が家では一ケ月に一回ペースで餃子の日があります。

息子は育ち盛りで、部活の事もあり少しでもヘルシーで美味しいものをと思い、友人に教えてもらったレシピの鶏肉で作る餃子が、今や我が家の餃子の定番となりました。なんでもみじん切りにして。息子が嫌いな椎茸もこそっと入れています。

（材　料）

鶏ムネ肉　ヤゲン軟骨　キャベツ　しょうが　にんにく　鶏がらスープのもと　干し椎茸　塩こしょう　醤油　ゼラチン　ごま油　酒

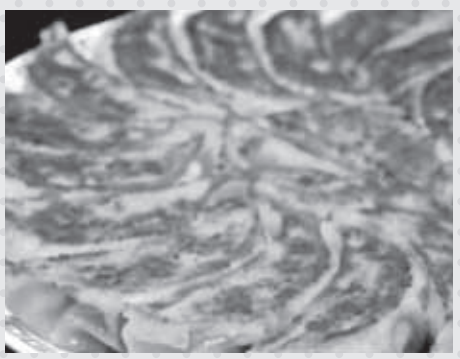
（作り方）

鶏ムネ肉とヤゲン軟骨をフードプロセッサーで粗みじん切りにし、キャベツ、水で戻した干し椎茸、すりおろしたにんにく、しょうが、酒、醤油、塩こしょうを入れ、粘りが出るまでまぜる。

干し椎茸の戻し汁に鶏がらスープを入れ火にかけ、ゼラチンを入れて冷ます。しばらく冷蔵庫でねかせて夕飯の時に包んで焼きます。

フライパンに餃子を並べたらお湯でといた鶏がらスープをまわしかけ蒸し焼き。水分を飛ばしお好みでサラダ油かごま油をまわしかけ焼き目をつけ完成です。

ゼラチンで固めたスープが入っているので鶏肉でもジューシーに仕上がります。



「いじめ防止標語コンテスト」

ＰＴＡ連合会では児童生徒のいじめ防止を啓発する内容の標語を募集します。

今年度より文部科学大臣賞が授与されるようになりました。

募集期間

平成26年12月1日（月）～平成27年1月16日（金）

表彰など

最優秀作品入賞者は保護者と共に春休みに東京での表彰式に招待され、表彰状・記念品・副賞（図書カード等）が贈られます。

募集要項

各学校に別途お知らせします。

書き損じハガキ募集

市郡連活動費の捻出のために

市郡連活動費の一助として本年度も書き損じハガキ（ＰＴＡ基金）の募集をすることになりました。これは佐賀県独自の取り組みです。

皆様のご協力をお願いいたします。

○募集方法

・期間　平成26年12月1日（月）～平成27年1月31日（土）
・各家庭に呼びかけ、保護者や児童生徒を通じて各単Ｐで回収する。（制限なし）
・各単Ｐで、百枚単位で輪ゴムで括り、2月16日（月）までに市郡連事務局に届ける。
・不明な点等は、県Ｐ事務局へお尋ねください。

☎０９５２－２６－２２７６

我が校、我が家の

「季節を感じさせる伝統食」

伊万里中Ｐ　山口　萩月

わが校の給食は、伊万里市学校給食センターで作られています。献立作成においては、主に米飯、牛乳、おかずを基本とし、日々成長している子どもたちに必要な栄養素を含んだ食事が毎日提供されています。地産地消の推進により、お米は伊万里町内で穫れたお米「たんぼの夢」「夢しずく」が使用され、食器は地元大川内町で作られる焼き物食器を使用し、子ども達は毎日温かく美味しいお米を頂いております。また、地域の農業や水産への理解を深めるため、又は子ども達が感謝の心で食事を頂くためにも「ふるさと食材伊万里の日」と題し、地元の食材を使った料理を毎月二回提供してもらっています。

今日紹介します献立は、行事食に添ったメニューです。九月八日は『中秋の名月』、秋の収穫を祝う日です。この日のメニューは、さばの味噌煮を主のおかずに法蓮草・胡瓜・人参のアーモンドあえ、白玉もちをお月さまに見立てた、大根・ごぼう・人参・椎茸・シメジなど具材いっぱいの「お月見汁」です。

こうした古くからの伝統の「行事食」も、給食を通して学ぶ機会を得られることはとても有難い事です。今日は、子ども達も秋の実りに感謝しながら美味しくいただいたことでしょう。

「有明海の給食」

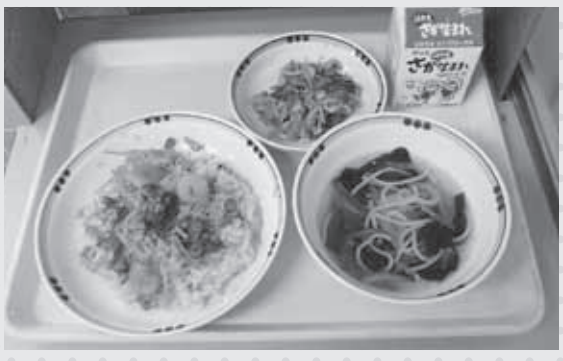
東与賀小Ｔ　金丸　望美

晩秋に有明海の東与賀海岸を真っ赤に染めるシチメンソウは、佐賀県を代表する秋の風物詩として有名です。本校の子どもたちは、「総合的な学習の時間」の単元等で、宝の海である有明海について学習をしています。

東与賀小学校の学校給食では、地域の東与賀町でとれるお米や新鮮でおいしい野菜、佐賀県産の精肉などを使った、地産地消の給食を実施しています。その中でも、特徴的な給食として挙げられるのが有明海でとれる産物を使った給食です。毎年、食育月間の六月と十一月に有明海の味めぐり給食を実施しています。

有明海の人気者のムツゴロウを使った給食では、押し寿司の上に甘辛く煮たムツゴロウの身を乗せた須古寿司にしています。また、日本では有明海奥部のみに生息し、産卵のために筑後川をさかのぼるエツをから揚げにしています。頭から尾までバリバリと食べることができるため、子どもたちにも大変人気です。他にも、有明海でとれる真えびを使ったかき揚げなど、有明海の産物が給食に登場します。

学校給食を通じて、子どもたちに郷土が誇る有明海や地域を大切にする心を育んでもらいたいと思っています。



「愛妻のほんの一品」

鳥栖中Ｐ　遠藤　剛文

力仕事を生業としている私の体を常に気遣い考えてくれている我が家のメニュー。中でもお勧めなのが「ガーリックチキンカルボナーラ」です。

鶏のムネ肉と緑黄色野菜でタンパク質、ビタミン、ミネラルをバランス良く摂取。疲労の蓄積を防ぐよう抗酸化成分をも補給すると言う優れ物！ご紹介させていただきます。

（材料一人分）

スパゲッティ　100g
鶏のムネ肉　60g
ブロッコリー　50g
ニンニク　1片
オリーブ油　小さじ1杯
豆乳　100cc
卵黄　1個分
粉チーズ　大さじ1杯
塩・黒コショウ　少々

（作り方）

①スパゲッティを茹でる。
②ニンニクを薄切りにし鶏肉とブロッコリーはひと口サイズに切る。
③ボウルに卵黄・豆乳・粉チーズを入れて良く混ぜる。
④フライパンにオリーブ油を入れニンニク・鶏肉・ブロッコリーを炒め③で混ぜ合わせたものにお湯50ccを加えて良く混ぜる。
⑤固まってきたらお湯100cc、スパゲッティを加えて混ぜ、塩・コショウで味を調える。

疲れ知らずの体が出来子ども達にも人気のあるメニュー。味はもちろん美味しかです。

第50回新春読書感想文コンクール

家族みんなで応募しよう！

県校長会･県ＰＴＡ連合会

合同研修会

主題「学校と家庭が協働する学校づくりで、すこやかな子どもを育もう！」

平成二十六年九月九日(火)　於　グランデはがくれ

佐賀県小中学校校長会と佐賀県ＰＴＡ連合会理事・母親委員の合同研修会を開催しました。

小・中学校校長先生三十一名、佐賀県ＰＴＡ連合会理事・母親委員二十四名、合計五十五名の参加でした。

主題に沿って小・中学校別に校長先生より提言があり、地域と学校の連携を通じての学校づくりで成果をあげたことが報告されました。

小学校部会提言

多久市立西渓小学校　校長　今泉　弘

テーマ

「学校と家庭が協働する学校づくりで健やかな子どもを育もう！」

～開かれた学校づくり（地域の中の学校として）～

一学校教育目標

「自信と誇りを持ち、自ら学び、心豊かにたくましく生き抜く西渓っ子」

二学校生活・学習の充実重点ポイント

一「落ち着いた学校生活」のために
○朝のあいさつ、くつならべ
○朝の時間や昼休み時間の過ごし方
○育友会・家庭と協働した生活・学習習慣の確立
○廊下歩行、西校舎への移動の仕方

二「学力向上」のために
○学年に合った教師が見える、指導が見える、西渓校独自の『学び合い』の確立
○生活、学習習慣の確立
○電子黒板、タブレットパソコンの活用

三「学年間（異学年）の交流」の充実のために
○「総合的な学習の時間」の充実
○特別活動の充実
・縦割り掃除（五～九年）の計画・実施
・生徒会、委員会活動の充実

三学びのガイドブック

学校教育目標、特色ある取り組みなど

西渓校独自にガイドブックを作成され保護者や地域の方々に配布されている。

中学校部会提言

鳥栖市立基里中学校　校長　西村　孝子

テーマ

「みんなで育てよう！未来を担う子どもたち！地球のたからもの」

一教育活動目標

学校・家庭・地域の三位一体での協力体制

二ＰＴＡ活動

☆小中学校合同のＰＴＡ活動

教育講演会や「ははおや?オリンピック」を協働して行い、授業参観、地域公開授業、学校行事等にも小中の保護者が参加

☆各専門委員会の活発な活動

総務・運営・広報・環境・生活・母親委員会で、構成されている。年に一～二回大きな行事を担当

☆地域との連携活動

基里町づくり推進協議会との連携での、「餅つき大会」「ものづくり教室」「花植活動」「防犯パトロール」など行い、生徒達の参加も多く、地域の方とのふれあいの場になっている。

☆ＰＴＡのＯＢとの連携活動

中学校ＰＴＡ役員だったメンバーが「おやじの会」を設立し、防犯パトロールや子どもたちを集めて企画・活動をしている

三保護者と教師との協力状況

☆報告・連絡・相談が円滑に行われている

四成果と課題

小中一貫校で九年間のスパンでＰＴＡと地域の各団体と交流し協力し合いながら児童生徒の成長を見ている。学校だけでは教育活動は成り立たない現代で、学校・家庭・地域の連携が必須である。

小規模校のため、何回もＰＴＡ役員をすることが多く、ＰＴＡ役員の負担も大きい。

子育て応援メッセージ「子育ていちばん！」

。あいさつ習慣　日々努力
。家族の絆は　日々食育
。親子でがまん　日々前進
。言葉・しぐさで　日々反省
。子育て楽しみ　日々発見

今年、初めてＰＴＡ本部役員母親部長になりました。初めてのこと、慣れないことばかりですが、半年がすぎようとしています。

我が家には、小五、小二、三歳の娘がおります。夜の会議に出ようとすると、末娘に泣かれます。小学校の姉たちは、「ママ、また出ていくと？」と不満そうな顔で言います。カレーライスを作ると、「ママ、今日の夜、おでかけ？」と聞いてきます。共働きなので、夫と協力しながら家事をやっていますが、確実に夫の負担が増えています。

今年は、家族が揃って一緒にいる時間がいつもより少ないぶん、寝る前の五分、夕食のとき、お風呂のとき…。その時間を大切にして毎日を過ごしたいと思っています。

少々家事を疎かにしても、家族との会話で、親も子も安心し、笑顔になれるのがいちばん！と考え、これからも一緒にいる時間を大切にしながら、仕事も家事もＰＴＡもマイペースでやっていきたいです。

鹿島小Ｐ　中島　智子

私は、父親になって十四年目になりますが、今だに子育てに悩む事ばかりで何時も周りの方々に助けてもらいながら子どもとともに成長させてもらってます。牛津中では保護者、学校、地域の方々と懇談会を行っています。その中で子どもの注意の仕方で悩んでいた時に地域の方から「叱る事は大事だけど怒ってダメだよ」と言われ、注意した時の事を振り返ってみると、感情的になって、一方的に怒鳴っていた事に気付かされて、子どもの部活動の事で悩んでいた時は周りの方々から「子どもには子どもなりの考えや人格があると思うよ」と話をしてもらい、この時も振り返ってみると自分の考えを押し付けて、子どもの気持ちを聞いてやれてなかった事にも気付かされました。子育ては親だけがするものと思っていて、地域と子育てと聞いても最初は半信半疑でしたが、気付けば周りの方々からアドバイスをもらい子育てをしていたんだと思ったら気持ちが楽になり、色々な角度から子どもを見れる様になり、地域や周りの方々のおかげで子育てが楽しくなりました。

これからも感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたいと思います。

牛津中Ｐ　北島　潤也

三里小学校の育友会活動

三里小育　会長　川久保堅典

小城町の最も南、春先には山いっぱいの梅の花が咲き優しい薫り漂う牛尾梅林がそばにある三里小。

三里小育友会は、保護者の方、地域の方々とゆたかに「関わり」を大切にしながら、育友会と地域が一体となってさまざまな体験活動をしています。

例えば、田植え・みかん狩り・いちご狩り・稲刈り・もちつき・しめ縄作り・飛行機大会・梅祭り・キャンプと季節ごとの行事があります。

中でも、夏休み後半にある『三里ふれあい自祭塾サマーキャンプ』。目的としては、「自分達で知恵を出し合い協力し合う」「友達と先輩の絆を深める友情を分かち合う」「楽しく有意義な活動にする」です。地域の方、保護者の方々に協力していただき、テント張り・くど作り・カレー作りなどを分担して行い、星の観察・大山登山をします。

この二日間で得たものは子ども達、大人にとってもたくさんあったと思います。こういった行事はなくてはならないもの。

これからも地域の方々と交流し、密着し、子ども達の安全を守り、今後の活動に生かしていきたいと思います。

北鹿島小学校のＰＴＡ活動

北鹿島小Ｐ　会長　江島　裕臣

有明海を臨む広大な田園地帯に立地する北鹿島小学校。鹿島藩主「鍋島直朝公」により築城された「恒広城」跡に明治七年開校、創立から一四〇年が経過する古き伝統と豊かな自然に恵まれた小学校です。現在の校舎は昭和六十三年に県内初のオープンスクールとして新築され今日に至っています。

単Ｐの構成は「総務広報部」「母親部」「保健体育部」「生活指導部」「環境整備部」の五つの専門部からなり、保護者をはじめ地域の方々の支援のもと活動を行っています。

主な活動内容としては、広報誌の作成や懇親球技大会、母親部による バザーの開催や校区内の危険箇所点検、校内の環境整備、また母親有志による読み聞かせ等を実施しています。

特色ある活動として特に力を入れているのが、地域との連携です。地元区長会等の関係団体と連携し「地域見守り隊」を結成、年三回の一斉下校指導を実施。さらには、地区振興会主催の様々な地域行事への参加など、学校と家庭だけでなく、それを育む地域と一体となり子供たちの成長を見守っています。役員の任期は一年間ですが「どうせやるなら楽しんで！」を合言葉に協力いただく皆さんに感謝しながら各活動に取り組んでいます。

特色ある単Ｐの活動
～小城市・鹿島市編～　Vol.33

佐賀県PTA連合会推薦　小中学生総合保障制度（こども総合保険）について

お子様を取り巻く様々なリスクに対応します。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など、さまざまな事故によりケガをした場合に補償します。

他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたりして、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。所定の条件を満たした場合、借り物の損害も補償します。ご家族の方も対象です。

○制度に関するお問合せ先：0120－228－553（通話料無料）　佐賀県PTA連合会保障制度事務局（取扱代理店：株式会社コーリン）受付時間：平日午前9時～午後5時（土・日・祝日、年末年始を除く。）
○事故のご連絡先　：0120－127－591（通話料無料）　お電話による保険金のお支払いサービス窓口（ＡＩＵ）　受付時間：平日午前9時～午後5時（土・日・祝日、年末年始を除く。）
○制度引受保険会社　：ＡＩＵ損害保険株式会社　東京海上日動火災保険株式会社　株式会社損害保険ジャパン　　2014年4月現在の内容です。
※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合せください。　承認番号　A－000453　2015-06